

お部屋の感染対策も
しっかりしています

今こそ実行！！感染対策



当院は清潔な環境、院内感染対策、救急時の安全対策、安全管理などについて、
国が定める基準を満たしているとし、厚生労働省より「歯科外来環境体制加算施設」として認定されました。





| | | | | | |
|---|--|---|---|--|---|
|  <p>界面活性剤をディスポーザブルやタオルに噴霧し、ユニットやキャビネットの材質のデリケートな箇所を拭拭し除菌洗浄を行います。</p> |  <p>診療中に手袋で接触した箇所、スイッチ、タッチパネル、ハンドル部分を拭拭します。患者さんごとに行うことで、次の患者さんへの感染を防止します。</p> |  <p>スリーウェイシリンジのハンドル部分も、患者さん毎に拭拭し、シリンジ先端は患者さんごとに交換し滅菌します。</p> |  <p>ライトのハンドル部分も手袋で接触するため患者さんごとに拭拭します。</p> |  <p>スピットン上の給水部分も、跳ね返りで汚れていることが多いため、必ず患者さんごとに拭拭します。</p> |  <p>唾液などで汚れた手袋で機械を触ることになるため、あらかじめ触れる部分には使い捨てのビニールで覆って感染を予防しています。</p> |
|  <p>虫歯治療や外科処置後など、周囲に唾液、血液が飛散している場合には、その部分を拭拭して、除菌洗浄を行います。</p> |  <p>キャビネット流しのハンドル部分なども手袋で接触する可能性が高い箇所なので頻りに拭拭し、除菌洗浄を行います。</p> |  <p>椅子の調整ハンドル部分も、手袋で診療中に接触している可能性の高い箇所です。忘れずに、患者さんごとに拭拭します</p> |  <p>待合室のドアノブや電気のスイッチ、トイレ周囲など患者さんが頻りに触れそうなところを殺菌力の強いオゾン水で一定時間おきに拭拭します</p> | <h3>世界基準の滅菌システム&衛生管理</h3> <p>当院では新型コロナウイルスを含むあらゆるウイルスや細菌による院内感染を予防するため、診療中のマスク・手袋の着用、うがい・手洗いの徹底。歯を削る器具の患者さん毎の交換と専用機器による滅菌、可能な限り使い捨ての資材利用、アルコール及びオゾン水を用いた院内器具の滅菌を実施しております。どれも非常に手間やコストはかかりますが、患者さんから見えない部分だからこそ、徹底的にこだわって安心安全な医療を提供しています。</p> | |

患者さんに使用した器具などの滅菌・消毒の流れ



①オゾン水による超音波洗浄・消毒 ③ハンドピース専用滅菌器 廃棄処分
 歯科医療機器専用ジェット洗浄機

②class B オートクレーブ（高圧蒸気滅菌器）による滅菌処理

| | | | |
|--|---|--|---|
| <p>1</p> <p>①オゾン水による超音波洗浄・消毒</p>   <p>強力な殺菌力をもったオゾン水を使用した超音波振動で小さく細かな器具を洗浄・消毒します。使用した器具を滅菌する前に、汚れやタンパク質などの付着を取り除き、見えない部分の細かい汚れも強力に落とします。</p> | <p>1</p> <p>①歯科医療機器専用ジェット洗浄機</p>  <p>徹底した感染予防には、主な感染源である器具についた血液や唾液のタンパク質汚れをしっかりと落とす必要があります。手洗いでは洗浄が難しい複雑な構造の器具の汚れも高圧水流で隅々まで落とし、熱水での消毒洗浄を行います。</p> | <p>2</p> <p>②class B オートクレーブ（高圧蒸気滅菌器）による滅菌処理</p>  <p>ヨーロッパ基準クラスB規格をクリアする滅菌処理が行えるオートクレーブ（高圧蒸気滅菌器）。残留空気を排出し真空状態となったチャンパー内に飽和蒸気を充満させることで、通常のオートクレーブでは困難な中空製品や繊維製品も確実に滅菌します。</p> | <p>3</p> <p>③ハンドピース専用滅菌</p>  <p>小型高圧蒸気滅菌器のヨーロッパ基準のクラスSをクリアする滅菌処理が行えます。飽和蒸気をハンドピースの内部に通気させることで、外側だけでなく内部回路まで洗浄でき、さらに注油、滅菌までを6本同時に完了することができます。</p> |
|--|---|--|---|

第2種滅菌技士が在籍中

おおくぼ歯科クリニックでは、この高度な滅菌消毒システムを第2種滅菌技士を常駐することで運用を可能にしています

第2種滅菌技士とは、日本医療機器学会が行っている試験に合格した者が認定を受けることができる資格です。滅菌供給に関する正しい知識を持ったスタッフが実践することで医療現場である当院での感染を防ぐ事と同時に医療の質の向上につながる重要な役割を担っております。

